

京都大学（美山） 芦生研究林林道災害復旧工事

付 属 資 料

令和 8 年 1 月

京都大学北部構内事務部施設安全課

課 長	課長補佐	掛 長	設 計
			

## 平面图

2

章	項 目	特 記 事 項
1 各章共通事項	○ 施工条件	<div>(1.3.5) [1.3.5]</div> <p>この工事現場では、次の施工条件による。</p> <hr/> <p>●現場までの道路は幅員が狭いため、搬入にあたっては現地調査を行い適正な車両、重機を選定すること。</p> <hr/> <p>●発生土は敷地内の指定場所（4か所、計300㎡）に集積し、仮置きすること。</p> <hr/> <p>●工事場所付近の林道については常時、研究車両等の通行があるため、通行に注意し作業を行うこと。</p> <hr/> <p>作業中も林道の通行止めは原則行わず、3m程度の道幅を確保すること。</p> <hr/> <p>また、通行止めをする必要のある作業が発生した場合は、監督職員と協議し、事前に調整を行うこと。</p> <hr/> <p>●12月初旬～4月中旬は雪の影響で林内への立入りができないため、以下の日程は作業中止日として工事計画を立てること。詳細は監督職員と協議すること。</p> <hr/> <p>・2月21日～4月中旬（気象条件によって変動）</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

（美山） 芦生研究林林道災害復旧工事

縮尺  
—

図面番号  
特 1

書（抜粋）

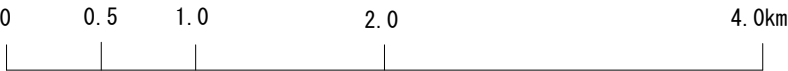
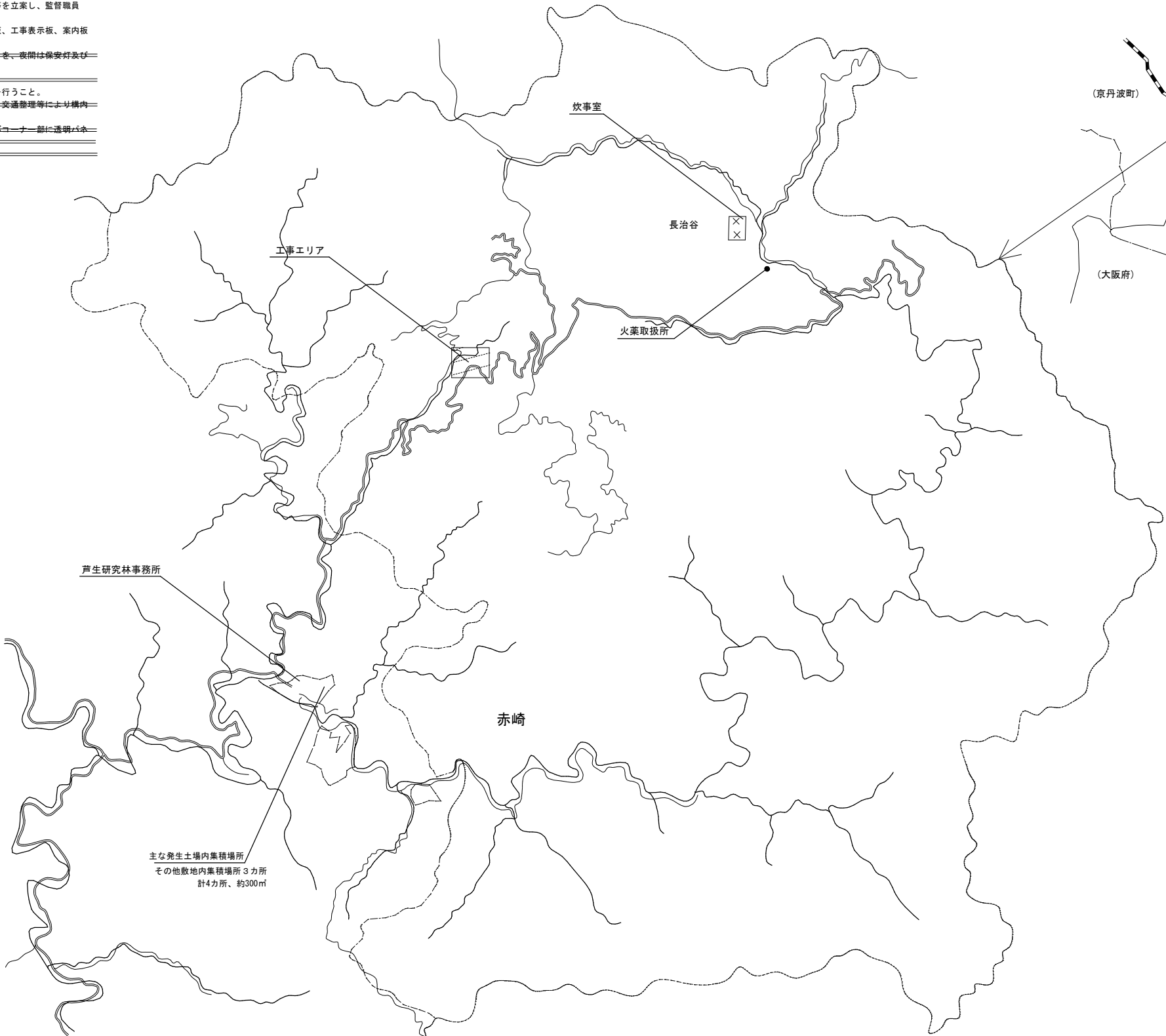
令和 8 年 1 月

現場説明付記事項

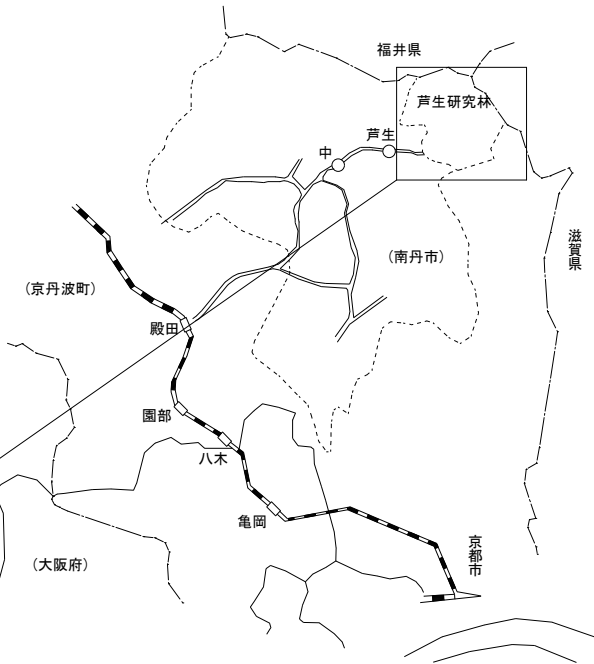
- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとする。
  - 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。
  - 3) 実習等のスケジュールを考慮し、監督職員と協議の上、工事計画を立てること。
  - 4) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
  - 5) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。

- 2 工事中の安全対策について
- 工事中の安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交巡規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
  - 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
  - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
  - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
  - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
  - 6) 低圍いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
  - 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。

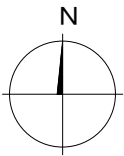
京都大学芦生研究林



配置図 S=1/40,000

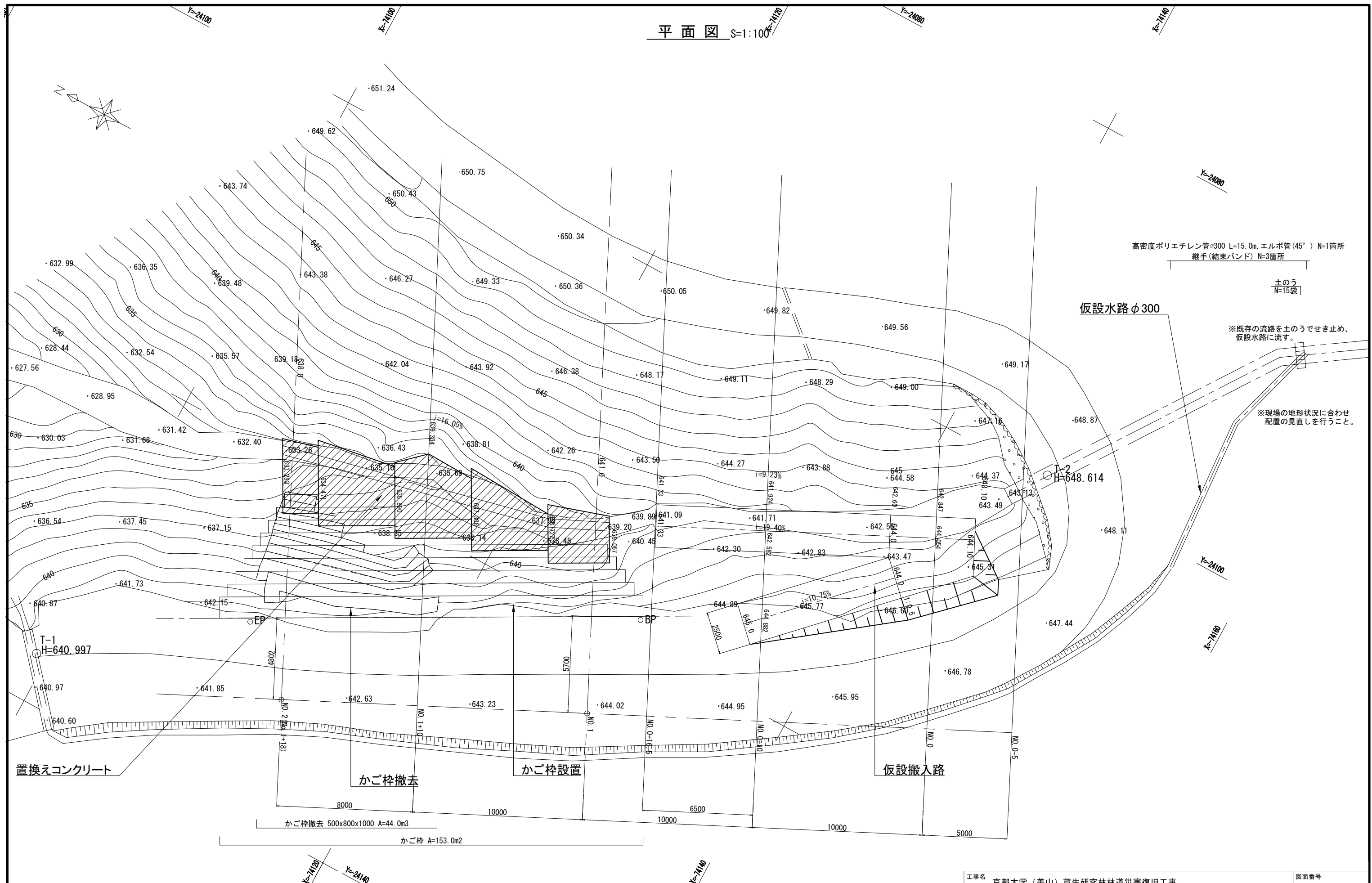


案内図 No scale



工事名 京都大学（美山）芦生研究林林道災害復旧工事			図面番号  <b>1</b>
図面名称	縮尺	設計日	
案内図・配置図	図示	令和8年1月	

平面图 S=1:100



工事名 京都大学（美山）芦生研究林林道災害復旧工事			図面番号    <b>2</b>
図面名称   案内図・配置図	縮尺   A3：1/200 A1：1/100	設計日   令和8年1月	